

平成30年10月29日

会 員 各 位

(公社)岡山県獣医師会
会 長 春 名 章 宏

宮崎県における獣医師の重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の発症事例
の情報提供及び宮崎 One Health 研究会公開セミナーのご案内について

標記の疾病については、7月以降、県内のネコでの発生が確認されたところですが、
ヒトでの発生も報告され、県内での浸潤が懸念されます。

そうした中で、宮崎県において感染したネコの診察・治療を行った獣医師及び動物看護師の発症について別紙のとおり日本獣医師会をとおして情報提供がありました。

宮崎 One Health 研究会では、宮崎県獣医師会と共催で、別紙のとおり公開セミナー
の開催を計画しています。

セミナーへの参加を希望される会員におかれましては、直接、宮崎県獣医師会事務局
(0985-24-7532) あてに、あらかじめ連絡されますようご案内申し上げます。

記

- 1 宮崎県での獣医師の SFTS 発症の経緯
添付書類 1 による。
- 2 宮崎 One Health 研究会 公開セミナー
宮崎県で考える “ペット由来感染症” としての SFTS “

別紙 2 参照のこと

宮崎県における獣医師の SFTS 発症の経緯

平成 30 年 8 月 16 日、小動物臨床を行う県内動物病院に勤務する獣医師(40 代女性)が、体調不良のネコを診察、治療した。当該ネコは前日に別の獣医師が診察し、SFTS を疑い、診断のために宮崎大学に SFTS ウイルス遺伝子検査を依頼していた。当該ネコは 8 月 17 日に SFTS と診断された。

獣医師は、当該ネコとの接触から 10 日後の 8 月 26 日に熱発と倦怠感を訴え、県内医療機関を受診した。臨床所見から SFTS が疑われ、県内高次医療機関に転院し、SFTS の検査が行われるも、当初の検査結果は陰性であった。疫学的所見および臨床所見から、依然 SFTS が強く疑われたことから、SFTS を念頭に置いた治療が実施された。その後の継続的な再検査で、3 および 4 病日目に SFTS ウイルス遺伝子検査陽性となり、8 月 31 日に SFTS と確定診断された。獣医師はその後回復した。

また、獣医師が SFTS のネコを治療する際に補助をした動物看護師も、12 日後の 8 月 28 日に熱発と倦怠感を訴え、県内医療機関を受診した。この時には、臨床所見から SFTS の可能性は低いと判断され、通院治療にて間もなく回復した。しかし前出の獣医師の件を踏まえ、この動物看護師のペア血清を用いた SFTS ウイルス抗体検査が行われ、SFTS と診断された。

なお、SFTS のネコは皮下点滴の際に出血し、獣医師と動物看護師が血液の拭き取りと止血処置を行った。また、発症した 2 名は、当該ネコの治療を行う際、感染対策として手袋とマスクを着用していたが、ゴーグルあるいはフェイスシールドは着用していなかった。

第2回 宮崎One Health研究会 公開セミナー

宮崎県で考える“ペット由来感染症”としてのSFTS

2013年に国内で初めて発生が報告された新興感染症「重症熱性血小板減少症候群(SFTS)」。
マダニが媒介するウイルス感染症ですが、近年、動物からの直接感染を疑う事例が発生しています。
そこで今回は、動物を取り扱う従事者の感染リスクとその対応について情報交換します。

■延岡会場■ 対象：医療、獣医療、公衆衛生行政関係者

11月6日（火）19：30-21：00

場所 県立延岡病院（2階講堂）

<内容>

当院におけるSFTS診療について	藤田 良佑	（県立延岡病院 内科副医長）
動物におけるSFTSの病態とヒトへの感染リスク	桐野 有美	（宮崎大学 獣医学科助教）
ペットからヒトへのSFTSV感染が強く疑われる事例	山中 篤志	（県立宮崎病院 内科医長）
業務中の感染と思われるSFTSを経験して	奥山 寛子	（動物病院 勤務獣医師）

■都城会場■ 対象：医療、獣医療、公衆衛生行政関係者

11月8日（木）19：30-21：00

場所 都城市郡医師会病院（都城健康サービスセンター1階 研修ホール）

<内容>

動物におけるSFTSの病態とヒトへの感染リスク	前田 健	（山口大学共同獣医学部教授）
ペットからヒトへのSFTSV感染が強く疑われる事例	山中 篤志	（県立宮崎病院内科医長）
業務中の感染と思われるSFTSを経験して	奥山 寛子	（動物病院 勤務獣医師）

■宮崎会場■ 対象：獣医療、公衆衛生行政関係者

11月22日（木）19：30-21：00

場所 県立宮崎病院（3階講堂）

<内容>

動物におけるSFTSの病態とヒトへの感染リスク	前田 健	（山口大学共同獣医学部教授）
ペットからヒトへのSFTSV感染が強く疑われる事例	山中 篤志	（県立宮崎病院内科医長）
動物病院における感染症予防対策の必要性について	岡林 環樹	（宮崎大学 獣医学科准教授）
ヒトの医療における感染対策のキホン	大利 美香	（県立宮崎病院感染管理認定看護師）
業務中の感染と思われるSFTSを経験して	奥山 寛子	（動物病院 勤務獣医師）

調査へのご協力をお願い

獣医療関係者のSFTSウイルス感染リスク調査のため、同意いただける方のSFTSウイルス抗体検査を無料で実施します。
すべての会場にて、セミナー開始前（18：30～）と終了後（21：10～）に採血を行います。ご協力をお願い申し上げます。
なおこの調査は、県立宮崎病院および宮崎県衛生環境研究所のご協力のもと、倫理規定に基づき実施いたします。

📍 調査対象者（任意）：小動物臨床獣医師、動物病院スタッフ、公衆衛生業務でイヌ・ネコの捕獲等に携わる方

申込不要／入場無料



【主催】 宮崎One Health研究会
 【共催】 宮崎県獣医師会、宮崎大学人獣共通感染症教育・研究プロジェクト、宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター
 【後援】 延岡市医師会
 【お問い合わせ】 宮崎大学農学部獣医学科 桐野有美
 TEL 0985-58-7281 Email kirinoyumi@cc.miyazaki-u.ac.jp